

地域おこし協力隊通信



隊員報告

うめき ことみ
梅木 琴未

初めてのせん定作業

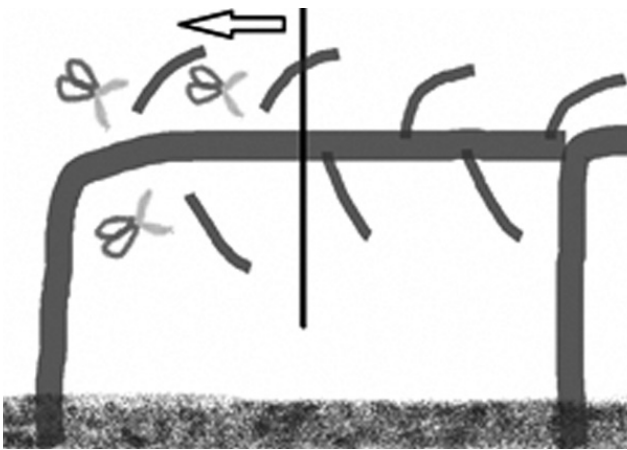
農業公社と協力隊公社班で行っている新甘泉栽培について。今回は12月22日に行ったせん定と、29日に行った誘引作業についての活動報告です。

今回は、切った枝を拾い集める作業と、枝の断面にトップジンMペーストという、カットバンのような役割の薬剤を塗る作業を行いました。(写真1)

一本の木の、半分から根元側に生えている強い枝を切り落とし、さらに全ての枝の先端部分を



▲写真1:切り口に薬剤塗布



▲図1:せん定箇所

を少しずつ切りました。(図1) 一本の苗についている枝の太さを均一にします。苗の樹勢は根元側が強く、先端が弱いです。そのため根元側の枝を切り、間引きせん定をしました。また、写真では分かりづらいですが、切った枝は山のような量です。(写真2)

次が枝の誘引作業です。量も多いため、今回はテープナーという機材を使って誘引しました。この機材のテープは、太陽光で分解していきます。なので、



▲写真3:先端を上向きに誘引



▲写真2:山積みの枝

古いものは指で挟むだけでポロポロと取れるほどになっています。今回は全部のテープを外して新しいのに変えていきました。また、枝の先端を上向きに誘引すると、来年の伸びがよくなります。(写真3)



隊員報告

ふじい せいこ
藤井 聖子

新甘泉農地での農業体験

私は新甘泉農地を教育の場として活用したいと考え、昨年の夏に子ども向けの農業体験を企画しました。

頭の中だけで考えるのと、実際にやることの間には、大きな隔たりがあるように思います。苗一本につき、2Lの水を180本分やるにしても、水はどこからとってくるのか？限られた時間の中で可能な水のやり方は？…農業では実際にやることの難しさとおもしろさの両方を体験できます。また、外で活動

すると心が晴れ晴れし、作業後のご飯はおいしいです！

小学3年生の授業で新甘泉栽培の紹介をさせて頂き、参加者を募りました。教室に入ると「女の人が来た！」と言う声がありました。農業をやっている人、男性というイメージがあるんだなあと新鮮に感じました。宇田川轟くん、加藤由梨さん、川上星愛さんの3人と、梨栽培を3回行いました。内容は、水やり、水が入ったタンクの掃除、肥料やり、収穫体験（H29はまだ収穫ができないので南部町で

実施）。

まず室内にて、なんで水やりをするのか？どんな方法でやるのか？を確認しました。農地に行けば、ミツシヨン（任務）として子どもたちだけで作業をやりきることとし、大人があれこれ指示をすることは極力しませんでした。

30度を越す炎天下の中、3人はエネルギーいっぱい作業をし、休憩時間には何十個ものセミの抜け殻を集める場面もありました。

実際に作業をしてみて、難し



▲水タンクの掃除

かったなあ、やったら意外とできるなあとか、色々なことを感じてくれるきっかけになると嬉しいです。



▲肥料の計量



▲エンジンカバーの取り付け